



組織全体を見渡し より大きな視点で判断

係長となり仕事の幅が広がった

土木監理課では、土木部の政策決定に関する企画調整や道路の維持管理に係る計画、防災に関する事務等を担当しています。市役所内をはじめ、国や他の自治体、民間の事業者などの方々と協議しながら仕事を進めることが多い業務です。土木職の中では現場に出る機会の少ない部署ですが、土木行政を担うやりがいのある仕事です。



係長になってからは係をまとめつつ、組織全体を見渡すことをより強く意識しています。昇任前と比べ、新たな取組にチャレンジする機会が増えるなど仕事の幅が広がり、大きな視点で物事を判断できるようになりました。

育児休業の取得者だから伝えられることがある

係のマネジメントを行う中で重要なことは「どのように仕事を任せるか」という点です。係員には自信を持って業務に取り組んでもらいたいので、それぞれの長所を見つけて積極的に声をかけることで、前向きな雰囲気をつくることを心掛けています。

また、技術職として専門知識を高めることはもちろん、プライベートも大切に日々の業務にあたる姿勢を示すことも大切だと考えています。私自身、子どもが生まれることを上司に伝えた際に、育児休業の取得を勧めてもらえたことがとてもうれしかったです。実際に取得したからこそ、仕事への不安や育児に大きく関わることのできる喜びなど、様々な心境や経験を周囲に伝え、積極的に取得を勧めたいです。



災害派遣での経験を堺市に活かしたい

平成28年10月から翌年3月まで東日本大震災で被災した宮城県石巻市に派遣されました。現地での活動は被災地



PROFILE

高橋 慶彦

平成20年4月採用

建設局 土木部
土木監理課
係長

の力になることができるのと同時に、通常業務では得ることのできない適応力、幅広い人脈づくりのスキルなどを身に付ける機会となりました。いつ起こるかかわからない災害に対して、スムーズに行動できる職員が一人でも多くいることは堺市においても迅速な復旧・復興につながるのだと考えています。

市役所の技術職をめざす方の中には、自分の知識を仕事で発揮できるのか不安を抱く方もいるかもしれませんが、市役所の仕事は専門分野のプロであると同時に、行政として幅広い連絡調整事務を担う側面もあります。皆さんが入庁後に経験を積み、市役所のプロとして活躍してくれることを期待しています。

昇任の時期・各種休暇取得時期・災害派遣経験

平成28年10月～
平成29年3月
宮城県石巻市

平成30年
建設局 土木部
河川水路課
主査(係長級)

令和4年2月
育児休業